



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY



第25回例会(4月2日)
令和3年4月9日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)
例会日 毎週金曜日12時30分～
<https://www.morioka-rc.jp/>

会長 米内 正
幹事 大平 騰一
会報 佐藤 仁志
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ Rotary Opens Opportunities:ロータリーは機会の扉を開く…ホルガー・クナーケ
盛岡RC会長テーマ 奉仕の輪を拡げ困難を乗り越えよう 米内 正



会員卓話

ヒトにおける子育ての意思決定

医療法人 緑生会 理事長
西島産婦人科医院 院長

西島 光茂 君

1. “時間割引” の心理

600万年という長い人類の進化を考えると、ヒトがどんな環境で生き、進化してきたかを測る指標を、「進化的適応環境」と呼びます。その5項目の中に子育てについての項目があります。それは「両親だけでなく、おじいさん、おばあさん、血縁、非血縁のいろいろな人が協力して子育てをした。」という項目です。

ヒトの子育ては大変な事です。しかし、ヒトにとって自分の遺伝子の継承者を育てることは極めて大切な事です。女性はセックスから妊娠。そして出産後と、それぞれの段階で感情を横に置き、目の前の子育てがうまくいくかを冷静に考えた上でそれを続けるかやめるかを決断してきました。しかし1960年代になり経口避妊薬の登場で、自分たちの意思でかなり確実に避妊ができるようになり、妊娠前に「こどもがいたらどうだろう」という空想上の判断を求められることになりました。妊娠した後の墮胎、嬰兒殺、虐待やネグレクトなどは、すべて「この子をどうしよう」という現実の子どもを前にした決断ですが、こどもができた時の生活を想像して、現在と比較して判断することは、将来の不確定な楽しみや喜び、報酬を低く見積もる「時間割引」の心理によって出産計画は延期されることになり、少子化に大きく影響していると考えられます。

2. 社会的サポート

一方で、将来の喜びに対して「今の喜びがどれだけあるか」も意思決定の大きな要素となります。今は楽しみがなく、将来子どもを持つことぐらいしか希望が持てない女性と、今日の前に楽しみがたくさんある女性では、将来の楽しみをどう考えるかは全然違ってきます。

女性の社会進出により自己成長のための投資が確実にできるようになれば、その目の前の楽しみが将来の不確実な子育ての楽しみに勝ってしまい、子づくりが先延ばしになってしまうということになります。

「進化的適応環境」で述べましたが、ヒトは共同繁殖ですから、社会的サポート不足や世代間の分断も少子化の要因になります。戦後の都市化や核家族化の進行で、家業を継ぐという切実な問題が無くなりました。小さな子供と日常的に接触する機会もなかなかありませんし幼児とともに過ごす経験が不足しており、なかなか子育てのスイッチが入らない状況にあります。今後は社会全体で子育て中の人へのサポートなどを充実したシステム設計が重要だと思います。

3. オス同士の競争のほうが厳しい？

オマケ：チャールズ・ダーウィン（1809-1882）は種の起源（1859年）で有名です。生物が進化

すると考えた人はダーウィン以前にもたくさんいましたが、みんな進化は進歩だと思っていました。進化が進歩ではないことを、きちんと示したのは、ダーウィンが初めてです。ダーウィンは「自然選択によって生物が進化すること」を発見しました。彼は自然選択の他に性選択についても述べています。繁殖に関して「普通は雄同士の競争の方が、雌同士の競争よりも厳しい」という事実があり、繁殖をめぐる雄間競争に勝つために、雄のからだはより大きくなり、角や牙など闘争に有利な形質が備わる。これが彼の考えた1つ目のシナリオです。一方の雌は何をしているのか。雄に対する「選り好み」が彼の答えでした。鳥たちの、闘争には役立たない、きれいな羽や飾り羽などは、それらを持った雄を雌が選り好みするから発達したのではないか。これが彼の考えた二つ目のシナリオでした。

真実は、男性が女性を選んだのではなく、女性が男性を選んでいるのです。

脚注) 今回の卓話では、次の方々の講演要旨・出版物などを利用させていただきました。心から御礼申し上げます。

- ・長谷川真理子 ①なぜヒトは進化できたのか？ 5つの環境要素、②進化生物学から見た「母親の子殺し」、③進化生物学から見た少子化問題、④知性の進化と科学文明の未来。
- ・田島木綿子 「海の哺乳類」の生き残り作戦。
- ・更科 功 「若い読者に贈る美しい生物学講義 感動する生命のはなし」、ダイヤモンド出版 2019。

例会報告

第25回例会

令和3年4月2日(金)

場所：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

12時30分 開会点鐘

- ・司会 米内正会長
- ・国歌 君が代
- ・ロータリーソング (奉仕の理想)
- ・会長報告 米内正会長
- ・入会祝 駒木進・吉江信博・荒川鉄平・菅原浩幸君

・誕生祝 吉江信博・佐々木和俊・大久保嘉二・高橋一仁君

・結婚祝 吉田育弘・熊谷祐三・長沼博君

・幹事報告 大平藤一幹事

・終了後定例理事会開催

・委員会報告

【ニコニコBOX】

◆飯塚肇君…テニス・マイアミオープンの大坂なおみ。4回戦で世界ランキング17位のメルテンスに6-3、6

-3でストレート勝ち。昨夏からの連勝を23に伸ばしてベスト8進出。マイアミオープンの初制覇を期待してニコニコします。

◆小川惇君…坂本宮司の県神社庁庁長就任お目出とうございます。盛岡城復元の促進や今後のご活やくを期待します。

◆米内正君…本日は産婦人科医である西島光茂先生による「ヒトにおける子育ての意思決定」と題する卓話を頂戴いたしました。ありがとうございます。



プログラムのお知らせ

- ・4月9日(金) 新入会員卓話 三浦義孝会員「小児科医のたからもの」
- 16日(金) 卓話
- 23日(金) 会員卓話 島山将樹会員「『ロータリーの友』のすゝめ」
- 30日(金) 特別休会
- ・5月7日(金) 新入会員卓話 三原康展会員
- 14日(金) 卓話

●本号編集担当/金沢 滋